

事業者における児童発達支援 自己評価結果(公表)

事業所名 SMILE SUNNY KURA

		チェック項目	はい	どちらとも言えない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標工夫している点	
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5			事業所が移転して、場所が広くなり、活動がしやすくなりました。しっかりと身体を動かせるようになりました。	
	2	職員の配置数は適切である	4	1		日中ずっと子どもが居る為、職員の休憩時や職員会議の実施時には手薄になってしまうため、他事業所から応援に来ていただいています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	2	1	安全のために、ゲートを設置したり、空間を分けたりする等の工夫がまだ必要だと感じています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設と振り返り)に、広く職員が参画している	3	2		年度初めに自分の年間目標を決め、それに対しての振り返りを年に2回行っています。管理者との面談で、評価・助言をしています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5			保護者様からの評価表のご意見を真摯に受け止め、個別に返答出来ることはしていきます。また、ご指摘があった場合、面談等して改善に向けて動いていきます。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	1	2	2	この自己評価をホームページには公開しているものの、会報などが無いため、保護者様にきちんとお渡しが出来ていないので、今年度からすぐに対応します。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	2	2	第三者による外部評価は行っていません。今後検討していきます。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5			毎月配信される動画研修による研修の実施、また研修案内が来た際には職員に参加を促しています。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成している	5			契約時に丁寧にアセスメントを行い、子ども・保護者様のニーズや課題を分析し、個別支援計画を作成しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	3		遠城寺式乳幼児分析発達検査を取り入れ、定期的に見直しを行っていますが、頻度は少ないので増やしていきたいです。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	1	3	1	基本的には、個人で活動の立案は行っています。	
	12	活動プログラムが固定化されないように工夫している	5			どの職員も色々な活動を考え、工夫したものを提供出来ています。	
	13	平日、祝日に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	2		3	祝日は出勤出来る職員数が少なく、手薄になりがちです。他事業所から応援に来てくださる職員が困らない活動内容を考えていきます。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで個別支援計画を作成している	4	1		午前中は主に集団活動、午後からは言語聴覚士・理学療法士による個別支援を実施し、子どもの状況にあった支援を提供しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援内容や役割分担について確認している	4	1		児童発達支援は、すぐに送迎が開始してしまうため、短い時間ではありますが、送迎や活動の確認を行い、情報共有に努めています。時間が限られていますので、共有出来ない部分に関してはラインワークスを使用し、情報を共有しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している			2	3	職員の退社時間がそれぞれ違うため、夕礼は実施出来ていませんが、その都度情報共有をするようにしています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	2	2	1	日々の支援に関しては正しく記録を取ることを意識していますが、それを職員全体に周知し、検証・改善するには至っていません。	
	18	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	4	1		6ヶ月に一回のモニタリングを行い、個別支援計画の見直しを行っています。必要があれば、6ヶ月以内に計画見直しも行っていきます。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っている	4	1		5領域に則した活動を立案・実施し、様々な方面からアプローチをしています。		
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加している	5			他職員の意見も事前に聞きながら、児童発達支援責任者が参加しています。		
21	保育園との情報共有(年間計画・行事予定等の交換等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	2	3		保育園と情報交換をし、連携は取れていると思いますが、保育園の年間行事の予定などをいただけると、より良いと思います。		
22	医療的ケアを必要とする子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている						

関係機関や保護者との連携	23	現在利用している保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5			保育園への送迎がある子どもに関しては、送迎時に先生とお話し出来ています。ただ、家族送迎の子どもに関しては、保育園との情報共有が十分とは言えないので、電話や訪問などで情報共有していきます。	
	24	学校を卒業し、放課後デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している					
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	2			豊川市児童発達相談センターの助言を受けたり、情報提供していただいた研修に関しては、勤務中に視聴し、間接的ではありますが研修に参加させていただいております。
	26	児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		5			利用児の人数増加に伴い、皆で外出する機会が減ってしまい、児童館等に行くことが出来ていないです。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	2	1		管理者が参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	2	3			日中の様子をこちらからお伝えすると共に、保護者様からも最近の困り事などを共有してくださっています。ただ、消極的な保護者様も見えるので、こちらから働きかけていきたいと思っています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている					
保護者への説明責任	30	運営規程、支援内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	1			契約時に、分かりやすいように丁寧に説明をしています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	1			すぐには答えられないこともあるので、一度上長へ相談して、上長から保護者様に伝えてもらうようにしています。
	32	父母会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1		4		お仕事をされている保護者様が多い為、なかなか開催は難しくですが、横の繋がりが出来るといいと思うので、要望があれば実施を検討していきたいです。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5				契約時にもお伝えしており、管理者・豊川市役所の窓口・愛知県の窓口があることを情報提供しております。また苦情があった際には、すぐに職員間で共有をし、改善策を検討した上で保護者様に返答しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4		1		日中の活動内容や子どもの写真などを保護者様に発信しています。ただ、会報のようなものはないので、必要があれば作成も検討していきます。
	35	個人情報に十分注意している	5				鍵付きの書庫にて、個人情報記載の書類は保管してあります。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5				障がいのある子どもに分かりやすい言葉を使ったり、言葉をまだ理解出来ないお子さまには、職員共通の絵カードを使用しています。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	4			シンメー全体では行っていますが、自事業所では実施したことがありません。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	3			各自マニュアルは職員は周知されていますが、保護者様へ共有が出来ていないため、早急に対応致します。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5				非常災害時に備えて避難訓練は実施していますが、回数は十分とは言えないので、今後増やしていきたいです。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5				虐待防止・身体拘束適正委員会が設置されており、虐待防止の DVD 視聴など、定期的な研修を実施しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載している	4	1			契約時に身体拘束をさせていただく場合の3つの条件をお話し、書面にて同意をもらっています。個別支援計画にも記載をしています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	2			食物アレルギーに関しては、職員の目につく場所に掲示がしてあります。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	2			ヒヤリハット報告書を出すようにはしていますが、事例集にまではまとめられていないです。	